「北海道理学療法士学術大会」査読ポリシー

「北海道理学療法士学術大会」に応募された演題は以下の査読ポリシーの元に査読される。

1. 査読者の選定と登録
   ① 査読者候補は公募に対する応募者から、過去の査読実績と日本理学療法士協会が認定した認定理学療法士・専門理学療法士を中心として、大会準備委員会が選定する。
   ② 査読者として応募する者は、受諾手続きの過程で査読可能な領域を演題分類から選択する。
2. 応募演題への査読者割り当て
   ① 応募演題 1 題につき5人以上の査読者が査読する。
   ② 査読者が演者（筆頭、共同含む）になっている演題と査読者の所属施設から応募された課題は、当該査読者に割り当てない。
3. 査読内容
   ① 査読項目は以下のとおりとする

1.独創性があるか
・問題設定、適用領域、発見、知見、事例、理論、方法論、技法、解法、アプローチ、モデル、システムなど

2.理学療法に関する貢献性があるか
・理学療法領域との関連が深く貢献度が高いか

3.抄録内容が適切か

1)「演題名」
・演題名は研究内容を十分に表現しているか。

2)「はじめに」、「目的」（序論）
・目的ないし研究課題が明確に述べられているか。
・研究の必要性と意義が明確に述べられているか。

3)「方法」
・対象者の選択基準（取込基準と除外基準）は適切か。
・介入（治療）研究の場合、その内容が十分に記載されているか。
・計測・評価方法は適切か。

4)「結果」
・客観的な結果（データ）が記載されているか。

5)「考察」
・研究目的と考察との一貫性があるか。
・論理的飛躍がないか。

4.研究（抄録）内容と希望された領域が合っているか

5.コメント記入

② 採点：査読者は上記 1.～3.5)の7項目につき 5 段階順序尺度で採点する。

4. 採否の決定

① 演題の採否は、査読点数を元に大会準備委員会の審査を経て大会長が決定する。

5. 情報開示

① 査読結果の開示は、各自の応募画面上で、査読項目毎の平均点及びコメントについて行う。

② 査読項目毎の全演題の平均点を応募画面上で開示する。

③ それ以外の採否に関する詳細情報は開示しない。

6. 査読点数の取扱い

① 採否の参考とする査読点数は各査読者の 7 項目の合計点の平均点（35 点満点）とする。

② 各演題の査読点数は各査読者の最高点と最低点を除いて、残りの査読者の平均点（35 点満点）を点数とする。